

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	英語演習（後学期）		
英文授業科目名	Intermediate Seminars in English		
開講年度	2005年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	社本 雅信		
居室	東1-807		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shamoto@bunka.uec.ac.jp	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>読解力向上と英国短編小説を読む楽しさを知る。</p> <p>英語で書かれた小説を読みこなすためには、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英文法の知識 2. 文脈に合った英単語・熟語の意味の推理力 3. 素材に対する文化的・歴史的知識と素養が必要である。 <p>将来、英語の文献を読み解く場合にも、この姿勢は変わるはずがない。</p> <p>この授業では小説を読みながら、英語を読み解く戦術を授ける。</p> <p>具体的に言えば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. に関して、語法・関係詞・態・仮定法に対する理解 2. に関して、文脈を常に見失わないようにしながら、 <ol style="list-style-type: none"> (1) 語彙力増強（基本語彙5000語） (2) 根気よく英和辞典・英英辞典をひく態度を奨励することになる。

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>1年次のEnglish A,B,C,Dの単位を取得していること。</p>

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p>

電気通信大学 平成17年度シラバス

【教科書等】

[教科書名]

精選英国短編集(2)(英潮社新社、1,470円)

[参考書]

『イギリス小説入門』 川口喬一著(研究社出版、2,050円)

『野蛮の発見』 岡倉登志著(講談社現代新書、600円)

【授業内容とその進め方】

第一次世界大戦以前にさかんな創作活動をしたJoseph Conrad (ジョウゼフ・コンラッド) (1857 - 1924) の短編小説 “An Outpost of Progress” (文明の前哨地点)を読む。

Conradは若くしてポーランドを離れ、長い海洋生活の後、小説を書き始めて、英国小説に確固たる地位を占めるにいたった異色の作家である。

1890年にコンラッドはある貿易会社の船長として、西アフリカベルギー領コンゴに出かけているが、このときの経験からこの短編が生まれた。極限状況におかれた文明人が自己崩壊するさまを緊密な構成で、適度な距離を保ちながら描いた作品である。

各自の担当部分を予め指定するが、担当者以外もしっかり読み込んで授業に臨むこと。一回の授業で大体2ページ強進み、8~9名程度の人が発表を担当する。一人あたり7~8行の英文の意味を取らせる。

英語の基礎学力の付いているひと、粘り強く物事の本質を考えるひとの参加を望む。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

学期終了後の成績を100%としたとき、期末試験の占める比率は70%~75%、平素の発表・授業に対する取り組み方・小テスト(2回実施)の成績を25%~30%とする。発表のときは、文脈をたどれているか、英語を正しく上手に読めるか、を判断材料にする。自分のことばで、文脈に合う解釈をすればよい。なお、(1)小テストを欠席すれば、その分は零点として扱い、

(2)「演習」という科目の性質上、欠席が4回以上に及んだ場合は、定期試験の受験資格を失う。

(b) 単位取得に必要なレベル：

定期試験および小テスト(ペーパーによる試験)が平均50点以上、発表担当を休まず、そのできがCランク以上であること。翻訳にとびついて勉強の時間を節約したと思える発表はDランクになる。

電気通信大学 平成17年度シラバス

【オフィスアワー：授業相談】

金曜日3時から5時半。できるだけ、appointmentをとるようにしてほしい。

【学生へのメッセージ】

平素から英英辞典・国語辞典に親しみ、英語で書かれた本であれ、日本語で書かれた本であれ、幅広く読書にいそむこと。一皮剥けると、目の前がぱっと明るくなる。

【その他】